

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

私たちの暮らしを支える税金

いわき市立内郷第一中学校 2年 小野田 桃子

税金とは？とインターネットで調べてみると、税金を納めることは憲法で決められた国民の義務であると示されている。そして税金は私達の暮らしの為に国や町が使うお金であり、私達の暮らしを支える為に色々な所で使われる。警察署、消防署、市役所、公立病院、公園、ゴミ処理施設、道路や橋の整備、学校の設備など、挙げたら切りがない程だ。その中で私が一番書きたいのは医療機関の事である。

私の弟は3才の時、脳出血を起こしていわき市医療センターから福島医大までドクターヘリで搬送された。車で2時間かかる距離を25分で到着したそうだ。ドクターヘリはおよそ時速200キロメートルというスピードで飛び、高度な医療器具も機内に設置されていて、緊急手術に備えるための処置が施せるようになっている。1回の往復の搬送におよそ50万円から100万円の税金がかかるそうだ。私の弟は、みなさんが納めてくれている税金によって救われた。優しさのバトンが弟につながった。いわき市上空を飛んでいるのを見上げた時、一刻を争う方の無事を願うと同じに、ドクターヘリの中で手当てをしている医師、操縦士の方に敬意を払いたい気持ちでいっぱいになる。そして今なお、誰かの命が助けられている。納税者の皆さんのおかげで。

また、風邪をひいたり、ケガをしたりして病院で手当てをしてもらう時もお金がかかりますが、かかった金額の一部には税金が使われている。そして、税金がないと医療費が高額になり、いざという時病院受診が難しくなる。そしたら辛くても診察を拒否する人が出てくるだろう。心や身体に障害がある人や生活に困っている人たちをも助けるのが税金。いわば納税者は自分自身、他人をも守るヒーローなのだ。

私が今出来る事は、おこづかいで買い物をした時に支払う消費税10パーセントだろうか。そして、今まで全く税金に関心がなかったのも、これはどうなんだろう？と目を向けていくことだろうか？

私もいずれ大人になり、色々な税金を納めるだろう。この税金の作品を書いてみよ
うと思ったのは、今まで全く興味がなかったので、あえて挑戦してみようと思ったこ
と。そしたら、医療のことを調べていくうちにドクターヘリも税金が関係していると
結びついた。命の恩人のドクターヘリに。知っているのと知らないのでは、これから
の生き方に大きく違いが出る。色々な事に感謝するようになるかもしれない。お互い
に顔は知らないけど、納税者もまだ納めてない人も、支え支えられて生きている。

納税は、やはり国民の義務である。